

第71回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年8月31日（金） 14:00-15:05
2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、後藤委員
 - (2) 政府側
和泉内閣総理大臣補佐官
宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、行松審議官、高倉参事官、森参事官、山口参事官
4. 議事要旨
 - (1) 今後の宇宙政策委員会各部会の検討の進め方について、宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。
(以下、○委員からの意見、質問)
 - 海洋状況把握については、状況を把握するための「システム」自体の議論は進んでいると思うが、海洋状況把握というものは、システムの議論にとどまらず、地域的にもっと幅広く捉えるべきである。そうなると、衛星の活用が重要になってくる。引き続き、海洋本部ともしっかりと連携し、必要な対策を工程表に盛り込んでいくことが必要。
 - AIにしても、宇宙安全保障にしても、日本に人材が少ないのが問題。防衛大学校でしっかりカリキュラムを作るなど、早急な対応が必要ではないかと思う。
 - 防衛大学校だけでなく、他の大学・学部とも連携し、専門分野の人材が集まって議論をしていくことが重要だと思う。
 - 国内だけでなく、米国・国防省などの人材との連携も視野に入れてはどうか。
 - 工程表の改訂については、今までの延長線上の議論と、新しく出て来た論点の2つがあると思うが、新しく出て来た論点については、しっかりハイライトし、逆に、既に進んでいるものについては、工程表から項目を落とすなど、工程表の重点化を図っていくことが必要ではないか。
 - (2) 今後の宇宙政策委員会の検討体制について、宇宙開発戦略推進事務局より説明を行い、新たに「宇宙法制小委員会」を設置し、軌道上の衛星の活動に関する政府補償の在り方などに関して検討していくことについて、宇宙政策委員会として了承した。
 - (3) 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の平成29年度及び第3期中期目標期間における業務実績評価について、宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。

以上